

青森県型 地域共生社会

地域で生まれ、地域で育ち、地域を助け、
地域で安心して老後を迎えることができる社会

高齢化、ひとり親家庭等の生活困窮や社会的孤立、8050問題、買物弱者、ヤングケアラー、地域コミュニティの維持…

地域住民の支援ニーズが複合化・複雑化

「保健・医療・福祉包括ケアシステム」を基盤としながらさまざまな分野を横断して、行政・専門職・地域住民の連携による地域社会全体のウェルビーイングをめざす。

【青森県型】のポイント

- 1 基盤となるのは、青森県が全国に先駆けて取り組んできた「保健・医療・福祉包括ケアシステム」。
- 2 住民主体による地域づくりや農山漁村の「地域経営体」など、さまざまな担い手を確保・育成することで、「地域の担い手」を増やす。
- 3 地域で「経済を回す」視点を重視。持続可能な地域づくりをめざす。

保健・医療・福祉包括ケアシステム



Well-being

青森県型地域共生社会

みんなできり組む



できることから Action

誰かがしてくれるのを待つのではなく、「私たち」が、
私たちの地域のことを考え、地域づくりに取り組んでいきましょう！

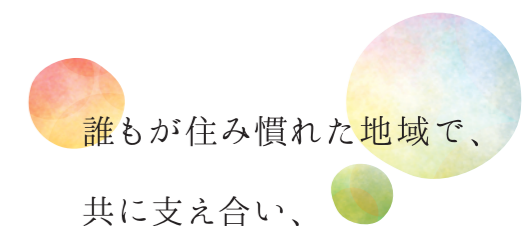
地域共生社会とは…

制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を目指しています。

詳しくは
厚生労働省 地域共生社会のポータルサイト
<https://www.mhlw.go.jp/kyouseisyakaiportal/>



今こそ必要な
「支え合い」の地域づくり
2025年には団塊の世代
が75歳以上となり、交通インフ
ラや医療機関、生活に必要な買
い物の場など、これまで当たり
前にあった生活機能の維持・確
保が大きな課題になると考え
られています。
青森県では、2025年以降
の超高齢化時代を見据え、県民
が住み慣れた地域で安心して暮
らし続けられるための地域づく
りを、市町村などの関係機関と
連携しながら進めています。地
域の暮らしを支える持続可能
な地域づくりを推進していくた
めには、地域住民の力が今後ま
ず重要となります。
大切なことは、住民の方々がさ
まざまな地域団体が主体的に
話し合い、自分たちに何ができ
るのかを考えて行動していくこ
とです。県民一人ひとりが「住み



誰もが住み慣れた地域で、
共に支え合い、

安心して暮らせるために

やすく、暮らしやすい地域にな
るには」を自分ごととして意識
し、行動することが、「青森県型
地域共生社会」に近づく一歩に
なります。
誰もが安心して地域で暮らす
ことのできる「青森県型地域共
生社会」の実現には、さまざま
な人たちが参画し、世代や分野
を超えてつながることが求めら
れます。実際に私たちの身の回
りには、隣近所のちょっとした助
け合いの活動や有償ボランティア
など、住民が主体となって日
常生活を支援する活動が多様
な形で存在しています。
「つながり」や「助け合い」の環
をを広げ、私たち一人ひとりの力
を合わせて、持続可能な地域づく
りをめざしていきましょう。